

## 研究主題設定の理由

本校では外国につながる生徒が多数在籍しており、年々増加傾向にあります。平成26年度は、16か国、34名が在籍(平成26年5月1日現在)し、全生徒数の約19%にもなります。

定時制の特徴でもある多様な背景のある生徒が在籍する本校においては、生徒が共に生きていくための人権教育、多文化共生教育の取組が必要です。そして、共に生きていくために必要な人権教育の研究と実践及び評価方法の開発に取り組むことが求められています。

また、外国につながる生徒たちが学校に定着し、自尊感情を高め、学力を身に付け、母語・母文化を生かした進路を開拓していくための指導内容、方法、実践及び評価方法の開発が必要です。具体的には、日本語支援が必要な生徒のための教育方法、教材づくり、学習環境整備等の研究・開発・実践を行わなければなりません。

以上のことから、多様な背景のある生徒と外国につながる多文化の生徒たちが共に生き、学び合うことで、学校の教育活動全体を豊かにし、活性化させたいと考え、研究主題を「多様な生徒が共に生きていくために～多文化共生の学校づくり～」としました。

本校は平成23・24年度東京都教育委員会人権尊重教育推進校として研究指定を受けた後、平成25年度から文部科学省の人権教育推進事業の研究指定校としてさまざまな取組を行ってきました。今年度はこれまでの研究をさらに発展させるための取組を進めてきました。

## 平成26年度 小山台高等学校定時制課程の取組

### 1 生徒対象の取組

#### 人権教育・多文化理解

- (1) 学校設定教科『多文化理解』
- (2) 学校設定教科『市民科』
- (3) 総合的な学習の時間
- (4) こや定ふれあいスクール
- (5) 芸術鑑賞教室

#### 外国につながる生徒の支援

- (1) 取り出し授業(1・2・3年生)
- (2) 始業前・放課後の日本語補習
- (3) 教材・配布物等のルビ振り・「やさしい日本語」

#### その他の生徒の支援

- (1) 放課後学習支援
- (2) 相談会
- (3) メンタル支援
- (4) 進路支援

### 2 保護者・地域対象の取組

#### 多文化理解

- (6) 都立学校公開講座『世界と出会おう』

#### 外国につながる生徒の保護者支援

- (4) 多言語保護者会(年2回)

### 職員研修会・研究会参加の取組

#### 職員対象の研修

- 生徒状況報告会(毎年、各学期ごと)
- 「東京都における人権教育の推進について」  
講師 教育庁指導部指導企画課人権教育班 指導主事
- 「定時制における人権教育の取組について」  
講師 都立南葛飾高等学校 主任教諭
- 「やさしい日本語でのコミュニケーションについて」  
講師 本校日本語取り出し担当 および 日本語補習担当講師

#### 研究会等への参加